

平成23年度

事務事業評価表(平成22年度の実績評価)

記入年月日  
平成 23 年 3 月 31 日

Table with columns for '事務事業名' (坂戸幼稚園運営事業), '区分' (分選別主要事業, 未来プロジェクト事業, etc.), '事務事業No.' (31631001), '課内No.' (1), '所属部' (教育委員会), '所属課' (やまと坂戸幼稚園), '課長名' (勝田 正則), '所属係' (大場 美千代), '事業期間' (単年度のみ, 単年度繰返し, etc.), '一般会計' (坂戸幼稚園事業).

【Do】 1. 事務事業の現状把握 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事務事業の内容】市内に在住する4歳～5歳の幼児を土日・祝祭日を除く平日にお預かりして、8時15分から15時まで幼児教育を実践します。具体的には、健康、人間関係、環境、言葉、表現の5つの領域について学びます。  
【担当者が行う業務の手順】 幼稚園教育要領に基づき、幼児期にふさわしい環境の中で、遊びを通して自主性や創造性を育て、義務教育及びその後の教育の基礎を培う。  
【事業費の内訳】 賃金(臨時教諭)、報償費(講師謝礼、記念品代)、備品費、需用費等が使われている。

(1) 事務事業の目的

Table with 4 main rows for objectives and 8 sub-rows for indicators. Includes '手段(22年度 実際に行った主な活動)', '対象(誰、何を対象にしているのか)', '意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)', '結果(どんな結果に結び付けるのか)'. Indicators include '活動指標', '対象指標', '成果指標', '上位成果指標'.

(2) 指標値の推移

Table showing trend of indicator values from 2020 to 2028. Columns: 区分, 単位, 20年度(実績), 21年度(実績), 22年度(実績), 23年度(計画), 24年度(計画), 25年度(計画), 28年度(目標). Rows: ⑤活動指標, ⑥対象指標, ⑦成果指標, ⑧上位成果指標.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table showing trend of input costs from 2020 to 2028. Columns: 区分, 単位, 20年度, 21年度, 22年度, 23年度, 24年度, 25年度, 28年度, 期間限定総投入量. Rows: 事業内訳 (国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源, 事業費計(A)), 人件費 (正規職員従事人数, 延べ業務時間, 人件費計(B)), トータルコスト(A)+(B).

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

坂戸幼稚園の開園以来、この事業は継続している。少子化傾向が続いているが、園児のいる限りは継続が必要。

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

公立の幼稚園が3園あり、登園方法がそれぞれ違っている。監査委員からは不公平感についてを指摘されたことあり。

事務事業名	坂戸幼稚園運営事業	事務事業No.	31631001	所属課	やまと坂戸幼稚園
-------	-----------	---------	----------	-----	----------

【See】 2. 評価の部 \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) 個々の幼児に応じた教育領域を身に付けている。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) 義務教育ではないが、公立幼稚園の使命は国が目指す幼児教育に最も近い立場で取り組むことができる。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?) 対象・意図とも現状で適切である。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である
有効性	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) 当該年度の成果は100%達成できたので、向上の余地はない。 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 公立の幼児教育機関が無くなる。幼稚園は義務教育ではないので、幼児教育の一貫性が損なわれる。 <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) 他に手段がある <input type="checkbox"/> → 具体的な手段、事務事業名 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所との連携の動きがあるが、条例・施設等の関係により、今すぐには連携できない。 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)) 現在職員2名での年少・年長クラスを持つての運営であり、削減余地はない。 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?) 事業費は、報酬、賃金、報償費、需用費などで、削減余地はない。 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) 入園料、授業料、給食費を徴収しており、応分の負担をいただいている。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>X</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>X</td> <td>X</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			X	低下		X	X
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			X																		
	低下		X	X																		
(3)-1 改革改善策																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 A <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) B: 継続(改革改善を行う)	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 未 <input type="checkbox"/>
(3) 2次評価における改革改善案	(4) 2次評価における指摘事項